授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
日本語表現論	1年次	前期	1	30	有

科目責任者	樋口正規
授業概要	言葉を使って物事を論理的に考え、体験した事実や自分の考えを分かりやすく伝える力を養うことを目指す。講義では、身近な話題や文章を例に挙げて、日本語表現の特質と課題について解説する。演習では、講義内容を踏まえ、的確な表現方法の習得に向けて具体的なトレーニングを行う。
目標	１．対象理解における論理的思考の重要性を認識する。 ２．正確かつ明瞭に表現する力を習得する。 ３．安房地域に暮らす人々のコミュニケーション文化を知る。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	授業計画の概説（自己紹介を兼ねて） ＊作文「今、私のめざすこと」	樋口	講義・演習
2	日本語表記の基本―漢字・仮名、送り仮名、記号・符号	樋口	講義・演習
3	文章表現の基本―語彙、文法、段落分け、文調、題名 ＊演習問題（１）	樋口	講義・演習
4	分かりやすい表現①―主述の対応／句読点の打ち方	樋口	講義・演習
5	分かりやすい表現②―並列の論理と方法／係り受け	樋口	講義・演習
6	分かりやすい表現③―叙述の順序／接続詞の功罪／引用	樋口	講義・演習
7	日本国憲法の論理①―前文の日本語	樋口	講義・演習
8	日本国憲法の論理②―護憲と改憲 ＊演習問題（２）	樋口	講義・演習
9	言葉による対話を求めて①　―若者言葉・老人語／話し言葉と書き言葉／敬語	樋口	講義・演習
10	言葉による対話を求めて②　―房州方言の諸相	樋口	講義・演習
11	簡潔な表現を目指す―指示語／名詞句／短文／箇条書き ＊演習問題（３）＊作文「私と日本語、私の日本語」	樋口	講義・演習
12	話し言葉の論理―音韻・アクセント・イントネーション 間／表情と動作	樋口	講義・演習
13	言語表現の壁 ―＜送り意図＞と＜受け内容＞／正解・誤解・曲解	樋口	講義・演習
14	講義のまとめ―言葉を磨く、言葉を生かす	樋口	講義・演習
15	試験	樋口	―
16	試験の解説	樋口	講義

履修条件	なし
テキスト	講師の提示する資料を用いる。
参考書	なし
評価方法・基準	提出物及び試験によって、総合的に評価する。